

# 5G×避難所高度化ソリューション

提案者名	小林寛史((一社)ICTまちづくり共通プラットフォーム推進機構)	連絡先	kobayashi-h@topic.or.jp
------	----------------------------------	-----	-------------------------

- 群馬県は地震に強く、津波もなく、豊富な発電力を有していることから想定される首都直下型、南海トラフといった大災害に際し、避難者を受け入れるべき地域になると考えている。その避難所で5Gを活用した高度な避難者向けソリューションを提供する。
- 避難所ソリューションでは5Gを用い避難者のフィジカル、メンタル両面での健康保全、避難所全体の安全管理に役立てる。

**被災地**

**5G** 高画質 移動性 多接続

**避難所**

ペットにもセンサーを装着。居場所の確認や健康管理に役立つ。

遠隔地 コミュニケーション

避難者のメンタルヘルスのための遠隔地の家族と高画質テレビ電話。その他通常のテレビも閲覧可能。

マイナンバーカード認証により、誰がどこの避難所にいるか特定。避難者DBを瞬時に構築する。その際本人同意に基づきPHRなども連携する。

バイタルセンサーとアラート機能

避難者にセンサーを配布。5Gの同時多接続により多数のデータを取得可能。健康状態に異常があればアラートを出し、保健師、医師などが対応。

マイナンバーカード認証で登録

保険師がアラートをチェック

遠隔診療

サーモグラフィなど多くのIoTセンサーを配備、5Gでデータ通信。発熱や入退室などを管理

避難者の安全確保のため多くのセンサーを載せた巡回ロボットを配置。

避難者同士による共助(子守りや高齢者支援)を実施。その際の見守りや監視として動画記録。

これらIoT機器の多接続、情報量の多いデータ通信を実現するには5Gが必須